

加茂高校の皆さんへ

令和5年1月30日

美濃加茂市長

藤井浩人



大寒波の一月が過ぎ、二月。 公務、政務、できることを一つずつ。

■再審請求棄却

2021年11月30日に名古屋高等裁判所に行っていた再審請求に対して“棄却”の決定が出ました。再審は「開かずの扉」と言われており、認められる事件は極めて少ないと言われています。それでも、事件における新たな証拠に基づいて事実を認めてくれるのではないかと淡い期待は抱いていました。良いご報告ができず、悔しさと憤りで胸がいっぱいです。新証拠は、逆転有罪事件で重要視された証言を覆すに値するものであり、せめて、証人の話だけでも聞いて欲しかった。書類だけで、人の人生を翻弄する裁判のあり方にも問題があると改めて



感じています。だからこそ、私は市政運営においては、直接対話や現地確認を組織として大切にしたいと考えています。応援していただいている方々からは「もう過去のことにとこだわらず、市長職に専念しても良いのではないか。事件のことは気にもしていない」そんなお言葉もいただきます。本当にありがたいお言葉ですが、そうはできません。

私は、自分自身の疑いを晴らすということだけでなく、このような冤罪事件が起ってしまった現在の社会制度に疑問を投げかけ続けなければならないと考えています。次世代のために、刑事事件に限らず、本当のことから目を逸らさない社会であってほしい。心から思うからこそ、行動を続けます。

■3個10万の堂上蜂屋柿

同じ名古屋ですが、こちらは明るい話題です。平安時代からの歴史がある“堂上蜂屋柿”が、名古屋中央卸売市場にて3個10万円

で競り落とされました。毎年行われている美濃加茂市堂上蜂屋柿振興会品評会にて金賞（岐阜県知事賞）を受賞した柿3個で10万円。銀賞が3万円、銅賞が2万円、佳作は1万円の値がつきました。



競りの後、購入された岐阜市の“石井果実店”さんでは、10万円の商品を筆頭にあつという間に完売したということでした。ちなみに、石井果実店さんは、40年来堂上蜂屋柿を扱っている名店です。

6年前にも、一度ご紹介させていただきましたが、名古屋市の河村市長にも堂上蜂屋柿をご紹介し、名古屋市内の新聞に掲載されました。名古屋市内のアンテナショップでも販売されますので、良い宣伝効果となることを期待しています。



少しでも多くの話題が生まれ、1000年の歴史がある堂上蜂屋柿が次世代にも引き継がれていくことを切に願います。

■学校訪問

まだコロナは完全に終息していませんが、なかなか行くことができなかった学校に出向いています。1月は下米田小学校、西中学校で見学や給食を児童生徒さんと一緒にいただき、意見交換をさせていただきました。また、加茂高校では“地域課題発見講演会”に呼んでいただき、高校1年生の皆さんに期待すること、15、16歳のうちに私だったら聞きたかったことをお伝えさせていただきました。

現場の先生たちは本当に頑張ってくれていると感じます。行政として、子どもたちの成長の環境がより良いものとなるよう、議論を深めていきたいと思っています。

■柿田トンネル貫通

現在、東海環状自動車道の東回りルートを一車線化する要望を行っています。令和6年度までに土岐JCTから可児ICの四車線化が実現する予定です。その区間の一番長いトンネルとなる柿田トンネルの貫通式に出席させていただきました。これだけの大きな事業は市や県だけでは到底実現できません。地元の国会議員の方々の強い後押しがあり、着実に進んでいます。



■地域課題に向き合う一年に

1年近く、毎週のように行ってきた動画配信（Youtube）ですが、1月から大きくリニューアルしました。1ヶ月を4回に分け、市内で活躍する凄い美濃加茂市民の紹介番組「すごいぞ！ミノカモジン」、



キズをつけて価値にする

市の歴史を紹介しながらコメントする番組「中山道太田塾」、



ご縁のある市長と対談する番組「市長／どっかん！バトル」



そして、ご質問ご意見にでお答えする「藤井浩人のキャッチアンドリリース」。※こちらのみ生配信です



ボランティアのスタッフの力を借りながら、模索し、制作しています。

ぜひ一度ご覧いただき、ご感想などお届けいただけましたら大変嬉しいです。

まだまだ寒い日が続きます。くれぐれも体調管理、交通事故等お気をつけください。

藤井浩人